

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん：肺がんに対して手術目的で入院されたことがある方

1、研究の題名『周術期肺がん患者における術前サルコペニアと術後身体機能の検証』

研究期間：2021年8月1日～2022年12月31日

2、研究の目的

サルコペニアは、進行性かつ全身性の骨格筋量および筋力の低下を特徴とする症候群であり、その結果、身体的障害、生活の質の低下に繋がると言われています。肺がん患者の場合、サルコペニアは術後生存率低下や術後の主要な合併症発生に影響することがいくつかの研究で示されています。また、胸腔鏡下葉切除後の身体機能の低下が、その後の転帰の悪化と関連していたとの報告もあり、肺癌術後の身体機能の維持が予後に重要であると考えられますが、術前サルコペニアと術後身体機能の改善度との関係を調べた研究はありません。

そこで本研究では、手術目的に当院入院となった肺がん患者さんを対象に、手術前のサルコペニアの有無が手術後の身体機能に影響を与えるかを検証することを目的としております。

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間：2018年4月1日～2021年8月31日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、入院日、退院日、主病名(肺がんの種類/ステージ)、これまでのがんの治療歴、入院後に発症した病気、併存疾患、入院及び退院時身体機能(6分間歩行試験距離、握力、歩行速度)、体重、身長、体組成分析(生体的インピーダンス法：骨格筋量、体水分均衡、骨格筋指数、位相角)、手術内容(切除部位、手術方法、出血量)

肺機能検査結果、血液検査結果(ヘモグロビン、血小板、白血球数、好中球数、アルブミン、BUN、クレアチニン、C反応性蛋白、リンパ球数)、リハビリ開始までの日数、リハビリ総単位数

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(部署)リハビリテーション部

(研究責任者) 白土健吾

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

飯塚病院 リハビリテーション部 白土 健吾
〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83
TEL:0948-22-3800(代表)